

★ 第 121 回 日本社会分析学会例会プログラム ★

日程:2011年7月23日(土)～7月24日(日)

会場:中村学園大学 西2号館8階2804小講義室

(〒814-0198 福岡県福岡市城南区別府5-7-1)

7月23日(土)

理事会 12:00～13:00 (西2号館9階コモンルームA)

開会 13:15

自由報告部会Ⅰ 地域 (13:20～15:20)

1. “From ‘Floating Population’ to ‘Guest Beijinger’

—Identity Formation of Migrant Workers in Beijing” 李蔚 (九州大学)

2. 「現代農山村における集落の現状と将来予測—別府市内成地区を事例に—」

東良太 (九州大学)

3. 「空間の『意味』と社会計画のローカル化」

速水聖子 (山口大学)

4. 「アートプロジェクトの住民評価とその規定因—瀬戸内国際芸術祭の事例—」

室井研二 (香川大学)

=Coffee Break(10分)=

自由報告部会Ⅱ 幸福 (15:30～17:00)

1. 「ソーシャル・キャピタルと健康—中山間事例の検討から—」 田中マキ子 (山口県立大学)

2. 「人生における転機現象の時間社会学的研究」 辻正二 (山口大学)

3. 「台湾のボランティア団体活動にかんする考察」 林寛子 (山口大学) ・ 三浦典子 (山口大学)

=Coffee Break(5分)=

総会 (17:05～17:50)

懇親会 (18:30～) 会場:タカラホテル 福岡市中央区渡辺通2-7-21 TEL.092-731-1661

(例会終了後、大学の正門からマイクロバスでホテル会場までご案内します。)

(会費は有識者 6,000 円、非有職者 4,000 円です。)

7月24日(日)

自由報告部会Ⅲ 教育と発達 (9:30～11:00)

1. 「高校中退要因に関する探索的分析」

菅澤貴之 (九州大学)

2. 「人格信頼 (システム理論) において必要なもの—『潜在時空概念』の提案—」 藤嶋康隆

3. 「虐待としつけに関する意識・実態と育児支援—未就学児の保護者調査に基づいて—」

○山下亜紀子 (宮崎大学) ・ 李璟媛 (岡山大学) ・ 藤嶋康隆

=Coffee Break(10分)=

特別部会: シリーズ『現代社会を読む』 (11:10～12:10)

「地域の『情報化』から情報の『地域化』へ

—地域情報化における『社会的準拠枠』に関する一考察—

城戸秀之 (鹿児島大学)